

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の全体会議で理念の唱和を行い、意思の統一を行っている。ケアをしている時に、判断に困った時にはいつでも振り返ることが出来るようにしている。施設内の5ヶ所に掲示している。理念に沿った個人目標を設定し実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防の為、現在も密な地域との連携は図れていないが、認知症サポーター養成講座などには積極的に参加している。コロナ禍前のような地域との交流を深めていきたい。	私の事業所でも、同じように地域との付き合いを制限させて頂いています。新型コロナウイルス感染症が5類になった時には以前と同じような生活ができるかなと期待感を持っていましたが、現在感染が流行していると聞いています。自己評価はCでも良いのではと思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね2ヶ月に1度のペースで、リモート開催をしている。運営推進会議の中で、外部評価のご意見・ご助言など頂くことで、サービスの向上につながっている。	こちらの事業所ではリモート会議をされており、感染流行にも配慮できる形が良いのかなと思います。今後もZoomの活用をして頂きながら、運営推進会議などで質の向上に努めて頂けたらと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に、解らないことがあった時には保険者の窓口に出向き直接話を聞いている。常に挨拶などを欠かさないようにしている。	地域の居宅や地域包括支援センターの方も『グループホームくるみ』の名前を聞いたら施設長の名前が分かる関係性があるので、よく名前を覚えてもらっているなと思います。見習いたいところです。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修などで身体拘束についての研修を行っている。自分がされて嫌な事はしないと職員全員で意思統一し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的開催されている『高齢者虐待防止・身体的拘束適正化検討委員会』において高齢者虐待や身体拘束にあたる行為はないことを確認していますので安心しております。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎県認知症高齢者グループホーム協議会が毎年開催する「身体拘束」「高齢者虐待」についての研修会を職員が参加し、内部研修で講師になり教えることで学びを深めている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方が、日頃のケアを振り返る機会を会議などで作られているようなので、今後も続けていってほしいと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修を行っている。現在は、成年後見制度を利用されている方はいない。今後も積極的に学びの機会を増やしていきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所を希望された方やご家族に、何度もお会いし施設の特徴や運営方針について説明を行っている。出来る限り、ミスマッチがないように納得して頂いた上でご入所して頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務長、管理者、計画作成担当者、介護職員が、できる限りご家族と密な連携が図れるようにしている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	痔などのちょっとした怪我などの時にもすぐにご連絡頂いているので、様子がよく分かって安心して任せられます。今回グループホームくるみさんが固定電話だけでなく携帯電話を持たれたようで、とても便利になっています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ず運営者が施設内会議に参加し職員の意見や提案などを受け止めた上で、運営に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処遇改善加算、特定処遇改善加算、ベースアップ加算などを算定し頑張っている職員を評価できるようにしている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	7月21日から基本給の方を上げております。3月、5月、12月に処遇改善一時金を支給していますが、職員が研修修了したり資格取得をしたりした時には頑張りを評価し、多めに支給するなどしています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護に関わる資格取得希望者には、資格取得の為に勉強会や参考書のアプリの提供を行っている。内部研修などで、職員が興味を持ったことを題材として講師となり職員同士で理解を深めている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の初任者研修の講師をしている方や先に資格を取得している方が、資格試験の時に分からない所や不安のある所を教えたり、アプリの提供を行っているというのはとてもよい取り組みだと思います。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が、積極的に研修会や協議会などに参加し同業者との交流を深めネットワーク作りに力を入れている。同業者の方と連携を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の今現在出来ることを大切にしながら、お手伝いなど積極的にお願いをしている。いつも、利用者の方にお手伝いをして頂き、介護スタッフを助けて頂いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為ベランダ面会を実施している。病院通院のみの外出の為、なかなか交流を持つ機会を作ることが出来ていない。	感染予防の観点からすると致し方ない部分があるのではと思います。その中でも、ベランダ面会を継続してされているので、頑張られているのではないかと思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の日頃の言動や行動を注視し利用者の思いや表情を組み取り、本人本位のケアができる様に支援している。ご家族やご本人より会話や生活の中で1人ひとりのニーズを拾い上げれるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉だけでなく、表情や本人の行動から希望や思いを汲み取り1人1人の気持ちに寄り添っている。言葉や気持ちを記録に拾い上げ、ケア担当者会議を行い、介護計画を作成している。	職員一人一人が担当の利用者様を持たれているという事で、責任を持って携われるので良い取り組みだと思います。私の施設では担当は決めてはいないのですが、センター方式のDシートなどを活用して介護支援専門員の有資格者の方がマネジメントを行っています。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1回、全職員を集めた会議において担当職員の評価を基に全職員で再評価させて頂いています。そうすることで、利用者様の状態を皆で共通理解し、今後の方針についてもケアの統一ができるように図っております。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護・介護経過記録、申し送り簿、LINEWORKSを使用し、その時の状態を職員同士が共有できるように努めている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎市ではセンター方式を推奨しているのですが、センター方式に用いられている24時間シートを活用して看護・介護経過記録を作成させて頂いております。LINEWORKSなどのツールを使用することでリアルタイムに共有できるという事が進化しているなど感じました。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防の為、ボランティアの方のお受入が出来ていないが、介護実習生の受け入れを積極的に行っている。新型コロナウイルス感染症の同行を見ながら、以前の様な取り組みをしていきたい。	新型コロナウイルス感染症がやっぱり気になります。その時状態が回復しても、後からいろいろな症状で出てくるという話とかを聞きますので、やっぱり新型コロナウイルスに感染しないような工夫をしながら運営を進めていかないといけないと感じます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内での地域の交流や活動は、感染症対策の為、二の足を踏んでしまっているが、施設として職員が、施設外で地域活動を行うようにしている。	『認知症サポーター養成講座』の講師をさせて頂いたり、認知症カフェに参加させて頂いたり地域での認知症に対する理解を深める活動に参加させて頂いております。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居される前からの主治医、本人やご家族の希望される医療機関の受診が継続できるように柔軟に対応している。往診のご希望の方には、往診されている Dr をご紹介している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、施設から情報提供を欠かさないようにしている。ご入院先の病院から連絡や本人の状態などの問い合わせには早急に対応し安心して治療ができるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より、機会がある時には病院関係者の方へ挨拶に伺うなど相談しやすい関係づくりに努めています。また、退院時の受け入れの申し出があった時には本人の状態を確認できるだけ早期に対応できるよう努めています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所は、基本的に入所前に終末期ケアは実施しないことを説明し納得していただいた上で入居契約を結んでいる。また、重度化した場合には、施設、家族、医療機関で話し合いその時に必要なサービスが適切に受けられるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当法人のもう一つの事業所を開設したのが18年前になるのですが、その当時に考えられていたグループホームの在り方を継承しています。認知症の方のケアに重点をおいた支援を心がけています。認知症の方が、元気に毎日を安心して生活できる施設であるよう努めております。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成いつでも閲覧できるようにしている。定期的に緊急時対応法の勉強会を行っている。日頃のケアの中で、医療職・ご家族との連絡法や対応法を学んでいる。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通年であれば、職員を集め、地域消防団の方と一緒に、防災訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為、本年度も中止している。	地域包括と民生委員とケアマネージャーで防災の話し合いがありました。こちらの施設の地域は防災マップ上において津波・洪水被害の対象ではない地域となっています。宮崎平野は台風・竜巻が多い地域とされています。雨戸がありますので、台風などの情報がある時には早めに雨戸を閉めるなどして被害を抑えたいと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練の実施中止となっておりますが、北消防署の方が来られて、小規模でも良いので訓練を行うようにとの助言を頂きました。近々避難訓練を行う予定になっております。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念に「人格を尊重する介護」を掲げている。プライバシーの保護について勉強会を行っている。利用者1人1人に対して丁寧な言葉づかいをするように心がけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回行われている内部研修でプライバシーの保護についての勉強会も年に1度は行っています。排泄の場面などが一番大切かなと思うのですが、本人から見えない位置で見守りを行うなどできるだけ配慮するよう心がけています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・入浴の時間をゆっくりと希望にそって過ごしていただいている。利用者1人1人の生活スタイルを職員が見極めながら、趣味・レクリエーションなどを通して喜びを利用者同士や職員と共に共有できるようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は、利用者の希望を聞きながら作っている。お手伝いをして頂いている。出来る限り、自力摂取を促せるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お手伝いが、感染症予防の観点から調理ではなくお盆拭きやテーブル拭きをして頂くなどに移行しています。食事の準備をお手伝いして頂くことで、食事も美味しく感じられるのかなと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の食事量、水分量を記録し、必要に応じて主治医に相談している。定期的に体重測定を行っている。主治医と連携を図り、体調管理に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が、口腔ケアの声掛けを行い磨き残しがないか口腔内を確認して必要に応じて介助しながら清潔を保っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方で口腔ケアが自らできない方は最初から介入させて頂いているのですが、できる限り歯ブラシは持って頂くようにしております。歯科医には必要時に歯科往診に来て頂いています。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを記録に取り、排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行っている。できる限り、トイレでの排泄が促せるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設では、基本的にポータブルトイレを使用しておりません。できるだけトイレでの排泄を促しています。心地よい排泄を促すために、自分が排泄しやすい環境を考えて、できる限りポータブルトイレは使用しないことにしています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個浴で職員と話をしながらゆっくりと入浴が出来るように支援している。1週間に2~3回入浴できるように支援している。本人に合わせた声掛けと支援が出来るようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安眠を促せるように洗濯などを行い寝具を清潔に保てるようにしている。その時の気持ちや体調に合わせて、居室で休んで頂けるように職員が声掛けや支援をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員2人でダブルチェックを行い、名前、日付、服用時間を口頭でいいあい確認しあっている。薬情報などすぐに確認できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報がまとめてあるファイルがあるのですが、それを確認しながら前日の夜に翌日服用するお薬を職員2人で確認しながらセットします。セットしたお薬を服薬時に職員2人で確認しあいながら服用するという手順です。何度も確認し間違いのないように努めています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のその時の状態に合わせてお手伝いをお願いしている。お手伝いをして頂いた後には必ず感謝の気持ちを言葉で伝えている。	利用者の方々の得意な事をして頂いており、それに対しての言葉かけなどもとても良い取り組みだと思います。今後も続けていってほしいと思います。一人一人の生活歴に注目して、できる限りの取り組みをしていけたら良いと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為日常的な外出支援を控えて頂いている。必要な病院受診は、ご家族にお願いし積極的に受診して頂いている。	感染症予防に努めながらなので、必要最低限の外出になるのは致し方ないのかなと感じます。新型コロナウイルス感染回復後、半年から1年以内に亡くられる方がいらっしゃる話もショッキングでした。施設で感染予防を頑張らないといけなないと思いました。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にお小遣いをお預かりしている。現在、感染症対策の為外出が出来ていないが、必要な物や好みの化粧品などご家族に連絡し購入して頂いている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、お友達からの電話の取次ぎなど積極的に行っている。うまく電話が出来ない方に関しては、職員が隣で会話が成立するように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を感じていただけるように、飾りつけや利用者の作品を掲示している。ホールやリビングにソファを配置し、共同スペースでも思い思いにくつろげる空間になるように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特定のテレビ番組が好きな方などいらっしゃるので、くつろいで番組を皆と楽しめるように支援しています。桜の木が11本植えてあるので春など桜を楽しみにされています。季節を感じられるような取り組みをさせて頂いています。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の日頃の言動や行動を記録にとり、把握している。ご家族と話す際に確認している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が、利用者との会話や出来事などを日頃から記録にとり、職員で定期的に話し合い情報の共有を行っている。そして、介護計画に反映できるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な会議やケア担当者会議で介護の方向性を話し合い統一したサービスが提供できるように支援している。介護記録にその時の本人の気持ちや気分が解るように工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報の共有をするのに宮崎市が勧めているセンター方式の用紙を参考に活用させて頂いています。医療面に弱い部分があるため、生活状況と医療面を合致させられるように工夫した記録シートを作成し、それを使用することで本人の日々の状況を把握し介護の方向性を話し合っております。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人1人リビングやフロア一、居室などに行かれ時間を過ごされている。本人の意志に沿った暮らしが出来ている。できる限り、利用者本人の思いや意向の把握し本人本位になるように支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居された時には、利用者の方がこれまで大切にしていた家具や寝具を持ち込む様に進めている。ご家族の写真なども飾り環境作りに努めている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の時にはご自宅の生活臭がする物を持ち込んで頂けるようにご家族にお話しています。また、地域の方が本人を何と呼ばれていたかやご家族のことを何と呼ばれているかといったことを聞かせて頂いて、回想法などに活用できるようにしています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	感染症対策の為、施設外への外出はご家族と一緒に病院受診時のみとさせて頂いている。現在の所、コロナ禍前のような日常的な外出支援は出来ていない。	面会や外出制限は仕方ない部分もあるのではないかと思います。感染予防が第一ですので、そういった施設も多いと思います。もともと、外部評価が始まった当初の外出の定義が、お墓参りだったりしています。新型コロナウイルス感染症流行前と、現在とではだいぶ感染症予防に対する考え方が変化しているので、評価項目についても変えていくということが必要な時期に来ているのではと感じることもあります。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今現在、本人ができること、できないことを把握しながら、職員と一緒にお手伝いやレクリエーションに取り組んで頂いている。お手伝いを頂いた後には必ずありがとうの気持ちを言葉で伝えている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	趣味や運動など利用者の生活スタイルを見極め、その人らしく生活が過ごされる様に支援している。会話やレクリエーション等を通して得る喜びをホーム全体で共有できるように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方と一緒におじゃみ崩しなどをして、失敗した方に「歌って」と言ったり、職員がわざと失敗して歌ったり皆さんが笑顔になって頂けるような支援をしています。ホーム全体で楽しみを共有できるように取り組んでいます。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防の為、現在の所地域との交流が出来ていない。介護実習生が、感染症の検査をしながら安全を確保した上で交流を行っている。	ベランダ面会を継続されていますし、実習生の受け入れもされていて、感染症予防の為いろいろと制限のある中で良くされているのではないかと思います。感染症対策はやりすぎることではないと思うので、何か気になった時にフェイスシールドなどを活用して介護をされている取り組みも素晴らしいなと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームくろみ、馴染みのある場所・生活の場と思って頂けるように職員が日々支援を行っている。何気ない日常がおだやかで楽しくすごせるように支援している。	こちらの施設では、いろいろと気を配って頂いて、気をつけて頂いて、気づいたことについては小さな痣などもすぐに職員の方からご報告頂くなど、気を遣って頂いているなど感じています。安心して家族を預けていられるなという印象です。地域に認知症に特化した施設があるのが良いですね。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	19 年程グループホーム事業をしております。開設当初、グループホームは家庭的な所で認知症の方が活動的に生活を営むという所から始まりました。時代が進み、看取りをしたりなど役割が変化している部分もあると思うのですが、当施設は元々のグループホームの概念を継承しており、認知症の方が少しでも笑顔にという思いでやらせて頂いております。